

根来山げんきの森倶楽部

令和3年1月作業日誌



今年最初の活動日は52人が参加し、くるみ割りや大木の搬出、沢小屋周辺の整備とそれぞれにぎやかに行いました。冬の森に時折差し込む日差しが心地よい一日でした。

活動日：令和3年1月17日 9:30～15:00 天気：曇り時々晴れ 倶楽部員：52人

実をたくさん取るには？！

クルミ割り…午前中に8人で次の活動日のクルミ餅用のオニグルミを割りました。夏の終わりに青い状態で採ったオニグルミの果肉を取る為に、2か月ほど地中に埋めていました。その後、掘って洗って腐った果肉を取り除き、乾燥させます。今年はイノシシに掘られなかったため、スーパーの買い物かご半分くらいの殻付きオニグルミがありました。オニグルミは殻が厚くてそのままでは簡単には割れないので、



前日のうちにIさんたちが焚火で過熱して隙間を作って割りやすい状態にしてくれていました。毎年クルミ割りでは剪定鋏を使って割っていますが、私はできるだけ大きく中身を取り出したかったので、そこまで切れない薄い刃のナイフを使って割りました。クルミの合わせ目の亀裂が大きいものは簡単に割れますが、あまり亀裂がないものはナイフを木槌で叩いて割ります。こうすると、物によってはクルミの実の半分の大きさで取り出せるものがあります（よく片側が半分になります）。このおかげで、私の割ったクルミは大きなものが多かったです（餅に入れるのでそこまで関係ないですが）。結局全体でボウルに一杯分のクルミの実が取れました。餅つきが楽しみです。皆さんも大きく中身を取り出したかったら、少し難しいですがナイフで割れるようにコツをつかんで頑張りましょう！（宗 尚輝）



美味しさの秘密

味噌汁づくり…いつも美味しくいただいている味噌汁。今日は初めて作り手にまわりました。先輩方の指導のもと、野菜等の具材を切ったり、着々と準備が進みます。大きな寸胴鍋に準備したお湯は鍋半分くらい。これで足りるのかしら？と心配したのですが、具材を全部入れるとお鍋いっぱいになりました。なんと、半分が具材だったんですね！いつもの美味しさに納得。途中、ガスが切れたりアクシデントもありましたが、何とか皆さんのお昼休みに間に合いました。「美味しいよ、ごちそうさま」と声をかけていただき、鍋もからっぽに。体も気持ちもほっこりあたたかくなりました。（宮芝 真弓）

漆掻きができる日を願って

漆谷整備…クラブ員6名が集まって、先月より継続で、作業残り約20本の漆の木に寒肥を散布しました。植樹後6年目の漆ですが、その成長には大きな差があります。同じ平面なのに、こんなにも差がでるのかと思うほどです。集合写真バックの木(漆)が最も大きく育ったものです。漆掻きができるまで成長を見守るのが皆の願いです。午



前中に全ての寒肥散布も終わりました。

午後は各自、広場の整備で草刈、池の砂上げ、水路の拡張などをしました。 追記：早くも初春の山菜ふきのとうが芽をだしております。

(藤園 満郎)



森の作業はつながっている



杉の搬出…今回は、歩道に倒れ込んでくる危険があるため、2ヶ月ほど前に切り倒した(写真右下)杉の搬出作業を行いました。総勢10名で、根元の直径60~70cm位の杉を3m50cmに玉切りにし、ワイヤーやロープを使い、川沿いの笹原から引き上げます。引き上げる高さは1~2m位なのですが、なんと言っても杉の大きな丸太、しかも足元は払った杉の枝等があり、不安定で、大変な作業です。そんな時の強い味方は、林内作業車やエンジン式のウインチです。

もちろん、それらを使いこなしたり、安全に配慮しながら引き上げやすいよう先を読んで動くのは諸先輩方で、私は教えていただくまま、夢中でロープを引っ張ったり、“だい”と呼ばれる短いワイヤーを届けに走ったりしていました。作業の仕上げに、林内作業車で引き上げた杉を製材の場所まで運ぶ後をついて歩きながら、木を伐り倒すだけでなく、その後、玉切りにしたり、運び出したり、これから後の製材なども含めて森での作業が多岐にわたっていて、全部が繋がって成り立っていることを改めて感じていました。あまり役に立ったとは言えない私ですが、皆さまの作業の流れに少しずつ乗っていけるよう、頑張っていきたいと思います。(森 留津)



素晴らしいチームワーク

沢小屋周辺作業…本日は沢小屋周辺の作業をしました。12名の方が参加してくれました、Sさんがテラーに道具を積み、各自は車で移動です。作業内容はあらかじめ知っていたのか、リーダーの指示なくそれぞれの場所へ。素晴らしいチームワークで、感心しました。【作業内容と結果】… ①炭焼き（2日目で継続中）②旧炭窯の解体（本日で終了、後日上屋の改築）③マキ割り（マキストーブ用）④



⑤会所の清掃（落葉つまり）⑤側溝の修理

（U字溝の壁が倒れ、角材でつっぱり仮修理）。以上でトラブルもなく14時過ぎに無事終了。下ではロゴチームの元気なかけ声が聞こえ、賑やかな一日でした。皆さん、作業中は安全にくれぐれも怪我のないように楽しくやりましょう。（田端 正弘）



スッキリ気持ちいい展望エリアに



これでは不安定だし見栄えも悪いので、切り離して地面につけ、それから広がった小枝を切り落として寄せ置く作業です。積み重なった大量の枝葉の中を泳ぐように切り進み、切った枝はできるだけまとめて整理しました。今回はチェーンソー作業のクラブ員が少なかったため、手作業による灌木や枝葉の整理が主になりました。そのため歩道周りが見違えるほどきれいに片付いて、スッキリと気持ちのいい展望エリアができました。これはぜひ、多くの人に見に来てほしいです。作業にあたったみなさんおつかれさまでした。（古澤 祐史）

スカイライン整備作業…先月に引き続き、スカイラインの展望を妨げるマテバシイやクスノキの整備作業を行いました。今回も車に乗り合わせて林道を進み、その後歩道を15分ほど歩いて体が温まったころようやく作業現場に到着です。わたしは、先月の作業で横倒しになったクスノキを小さく切って整理する作業を行いました。倒したままのクスノキは、枝分かれした太い幹や枝が突っ張って、半ば宙に浮いた状態になっています。

2月に入ってげんきの森もだんだんと陽ざしの強さを感じます。まだまだ春の気配はわずかですが、ムラサキシキブの裸芽が広がり始めたり、ヤマザクラの花芽に力強さが出てきています。春はもうすぐそこまで近づいてきているようです。（岡田 和久）